

2026.2.2 地区活動者会議への報告

地区常任委員会

(1) 比例東京の情勢判断と、その徹底について

1週間前は「まだ距離があるが頑張り抜けば宮本議席を奪還できる」

→「東京ブロックは1票を争う大激戦 2議席目の宮本徹さん、当落線上へ猛追！」

- ① 私たちの取り組み ▼公示までの宣伝目標達成！前回総選挙・同日数140% ▼初ボランティアたくさん(ビラ20代2人、朝宣、電話、弁士！) ▼読者募金
 - ② 論戦 政党対決でも、政策争点でも、党の値打ちくつきり。他党支持者「今度は日本共産党」⇔ 自民党と対決する野党第一党の消滅。国民・参政の突風なし
 - ③ 逆風 高市首相と自・維・国・参一体の「右へ右へ」の攻勢。メディアがあおり、中道が屈服中で、高市批判が弱い。この反動的な動きそのものが党の逆風
 - ④ 東京ブロック 新たに参政党とチームみらいが議席を狙う。最後のがんばりを⇔ 宮本徹は前回18,000票差で落選。調布・府中300票、狛江100票。
- ※ 朝日新聞の情勢調査は、35万/37万がネット調査。無党派の高市人気の現れ
- ⑤ 情勢判断の徹底を 党員、読者、ニュース読者、支持者に伝え、担い手を広げる ▼「全都後援会ニュース特別号」版下到着 ▼党員に田村訴え動画を

(2) 政治戦について——優位でも、自然に党支持にならない逆風の中

- ① 基本ビラがかみ合っている。自信をもって、あらゆる活動で押していく
- ② 電話でも宣伝でも「情勢判断」を入れて、東京全体の雰囲気にしていく
- ③ 地区作成の対話資料▼「中道について」▼「チームみらいについて」ぜひ活用を
- ④ 「宮本徹議席奪還」熱いだけに、「比例は政党名」「個人名は無効」を必ず伝える ▼「2枚目の比例代表で日本共産党とお書きください」略さずに

(3) 街頭宣伝 —— 無党派層への街頭対話にこだわる

- ① 車。4(水)吉良@18時15分調布、6(金)山添@15時・府中&16時10分・調布
- ② 市委員会宣伝の成功、朝宣伝も。「プラカード」「赤そろえ」でかっこよく目立つ
- ③ サポーター「おかえりなさい宣伝」【調布】4(水)19時・仙川、6(金)19時・調布【狛江】3(火)~6(金)19時・狛江駅 【府中】3(火)、5(木)19時半・府中駅
- ④ 募金箱をもって訴える(地面に置かない)

(5) 組織戦——対話は会員比35% 支持は参院比調32%、狛21%、府22%

- ① 参院支持拡大の1.6倍へ。電話は夜電も。名簿の支部内・支部間の相互融通も ▼「支部を超えて、みんなで電話を励ましながらかける」は昨年 of 大切な教訓 ▼金曜の山添街宣までに、ニュース会員を当たり尽くそう
- ② 電話が繋がらないもとのニュース会員訪問。好評な「名刺大ニュース」を
- ③ 期日前投票の呼びかけ(入場整理券がなくても大丈夫) ▼棄権防止も(木曜以降の支持拡、『行った』『確実に行く』人は日報で数える)

(6) SNS——夜でもできる選挙活動

- ① メール、LINEで「動画の転送」とても効果的(反応あったら「対話」にカウント) ⇔ 自公はえげつなく、普通のサークル・団体LINEに呼びかけている 特に「政見放送」動画の活用を
- ② YouTubeでもSNSで「いいね」「高評価」、「前向きコメント」が大事。

(7) 党員・読者を迎え、党をつくりながら。募金1,063万円 / 目標1,500万円

- ① 今回はのぼり、横断幕、名刺大ニュース、プラスターなど、地区オリジナル宣伝物を大量作成し、全都の先頭を走っている。臨時電話は16台契約中
- ② 20代の女性が民青に加盟。昨年参院選以上の熱がある。世代的継承を！